

第1次上尾市図書館サービス計画実施結果表

計画期間(H22年度～H27年度)

基本方針		担当	サービス計画番号	サービス計画項目	実施結果	第1次計画最終結果			
1	図書館資料の充実	基本資料の充実	本・分児	1-1	参考図書・基本図書の充実	○	・参考図書は本館を中心に収集した。 ・児童書を中心に本館・分館の基本図書の買い替えをおこなった。(H22年度～H27年度の蔵書数は17,249冊増加している。増加冊数は新刊受入数から除籍冊数を引いた数である。H27年度は図書のみ(雑誌・視聴覚資料を除く)で2万冊弱の受入れをしたが、2万5千冊の除籍をしたため、蔵書数は逆に減少している。		
			本・分障	1-2	大活字本・録音図書の充実	△	・大活字本の収集を継続的に実施した。 ・録音資料(“やまびこジャーナル”“広報あげお”)の収集を開始した。		
			児・青	1-3	児童書・中高生図書の充実	○	・中高生に身近なテーマの本(学校生活、進路、部活、職業意識)や、様々なジャンル の小説などを中心に収集を実施した。 ・本館及び分館の児童・青少年コーナーの書架を本の魅力が伝わりやすいように展示替えを実施した。 ・リニューアルした図書館HPでも専用コーナーを設置し、お勧め本を紹介している。 ・人気のある図書は複本で揃え、時々話題になる本や流行する作家、シリーズなども利用者の読書欲求を満足させるため担当内で話し合いながら購入している(児)		
			視	1-4	視聴覚資料の充実	○	・新規受入CD602件、DVD149件。(平成28年3月8日時点) ・本館に朗読CDのコーナーを設置した。 ・DVD資料の解説書の貸出方法を改善した。		
		地域・行政資料の充実	郷	1-5	上尾市に関わる刊行物の収集	△	・上尾市や市にゆかりのある著作について図書という形に限らず、パンフレットや郷土カルタ、手書きの冊子などを市役所関係各所から収集、また市民からの寄贈や民間施設から収集し整理を行った。		
			郷・本	1-6	埼玉県と上尾市に隣接する市町村に関わる資料の収集	△	・県立図書館の埼玉県関係資料寄贈展示会などで冊子だけでなく、地図、パンフレット、学校副読本など埼玉県に関する資料の収集、整理を行った。近隣市町村については、書架スペースの関係で市史の収集にとどまっている。		
		デジタル資料の充実	本	1-7	館内閲覧用の内部データベース(百科事典、名鑑・年鑑、行政関連資料等)の収集	△	・国立国会図書館の歴史的音源配信サービスを開始した。		
			雑	1-8	新聞、雑誌等の有料データベース活用	○	・「開蔵Ⅱ」「日経テレコン21」「官報」データベースを提供した。		
		2	情報サービスの充実	レファレンスサービスの充実	本レ	2-1	レファレンスサービスのPR「調べ方案内」「よくある質問集」の発行	△	・国立国会図書館レファレンス協同データベースに参加した。
					レ	2-2	電子メールからのレファレンス受付、HP上にレファレンス質問欄を設定	△	メールで受けた際は担当が対応している。 HP上のレファレンス質問については、国立国会図書館のレファレンス協同データベース事業の参加で対応する。
電	2-4				新着情報を利用者へメール送信(SDIサービス)	—	・新着情報はHP等から提供しているが、SDIサービスは提供していない。		
本レ	2-5				問題解決の援助サービス(地域関係機関紹介)	△	・地域機関紹介は行っているが、PRなど積極的には行ってはいない。		
IT環境整備	管・電			2-5	インターネット端末の複数台設置	○	・本館4台、大石分館2台、駅前分館1台の利用者用インターネット端末を設置している。		
	管・電			2-6	持ち込みPCの利用環境整備	△	・本館で電源を提供している。WiFi環境は無い。		
	次・電			2-7	ICタグとBDSによる蔵書管理推進 自動貸出機導入	—	・導入を検討する。		
くらしに役立つ情報提供	本			2-8	生活上の諸問題解決のための情報提供	△	・県・市のお知らせを掲示し、啓発パンフレット等を配布している。 ・本館にセカンドライフコーナーを設置し、図書資料のほかシニア向けのパンフレット等を提供している。		
	本			2-9	多様な学習機会の提供(※)	△	「図書館まつり」の中で講演会・文学講座などを実施している。継続的な学習機会は提供できていない。		
	本			2-10	商用データベース等の各種情報源の提供	○	1-8に同じ		

	基本方針		担当	サービス計画番号	サービス計画項目	実施結果	第1次計画最終結果
			電	2-11	ホームページにリンク集を作る。(他図書館、信頼できる情報源など)	○	・各種図書館のリンク集を作成した。 ・調べものに役立つリンク集を作成した。
			電	2-12	ホームページを双方向型地域情報拠点にする。	—	・市ホームページに準拠する。
3	対象者別サービスの充実	乳幼児サービス	児	3-1	4ヶ月健診時のブックスタート事業	○	・事業として定着している。配付する絵本をすでに持っている人には違う本を提供している。
			児	3-2	赤ちゃんや乳幼児向けの絵本のリスト作成配布	○	・赤ちゃん用、乳幼児用絵本リストを作成し配布している。
			児	3-3	絵本の時間の開催	○	・「絵本の時間」を実施している。「赤ちゃんおはなし会」を月1回実施している。
			支	3-3	「おやこでえほんサロン」の開催	○	・ブックスタート事業が行われる東保健センターを会場に、月1回「おやこでえほんサロン」を開催している。読み聞かせボランティアが「先輩おかあさん」として絵本の相談などに応じている。ミニおはなし会も開催している。
		児童サービス	児	3-4	児童書の蔵書充実	○	・図書館として揃えておくべき基本図書や参考書、利用者からの要求が多い図書をバランスを考慮して収集している。
			児・支	3-5	年齢層に合わせた図書リストの作成	○	・「読書パスポート」の中での本の紹介をしている。 ・「えほんのきろく」の中での乳幼児向け図書リストを提供している。
			児	3-6	児童向け事業の充実	○	・市内9館の図書館(室)すべてで「おはなし会」または「えほんのじかん」を実施している。
			支	3-6	児童向け事業の充実	○	・家庭・地域・学校に向けて子どもとそれを取り巻く大人(保護者・ボランティア等)に向けて、イベントや啓発事業を行っている。 ・子どもと保護者向けの講座 27年度:回数/11回 参加者/大人167人 子ども127人 ・地域でのおはなし会 27年度:回数4回 参加者/大人57人 子ども660人 ・学校でのおはなし会 27年度:回数/18回 参加者/子ども619人 など
			支	3-7	「こどもの読書推進計画」の策定、推進	○	・「第2次上尾市子どもの読書活動推進計画(H28年度～32年度)」を策定した。
			児・青	3-8	調べ学習に応える資料収集	○	・調べ学習用資料を収集している。
		青少年サービス	青	3-9	青少年向け図書資料の充実	○	・中学生向け「あっぱいぶつくる本」12セットの貸出を実施している。 ・年4回企画展示をしている。同時にHPにお勧め本リストを掲載している。
			青(児)	3-10	中高生の職業体験の受入	○	・チャレンジ体験(中学生)の受入をしている(年間3校程度) ・インターンシップ(高校生)の受入をしている(年間1校程度)
			青	3-11	高校の部活動などと連携し、図書館機関紙の作成参加	△	・本館のお勧め本投稿コーナーをリニューアルし、過去の投稿集の館内閲覧を実施している。部活動などと連携した活動はできていない。
			青	3-12	進路選択、新社会人に役立つ資料収集	○	・主に中高生向けに進路関係の図書資料を収集している。
		高齢者サービス	本・分	3-13	余暇を図書館で過ごしてもらえるような施設づくり	△	・閲覧席にクッションを設置した。 ・時間限定の飲食コーナーを設けた。 ・集会室などペットボトルOKにした。
			視	3-14	「大人向け映画会」や「お話し会」の開催	○	・大人向け映画会として「土曜映画会」開催している(年3回) ・大人向け「おはなし会」開催(年2回)
			本	3-15	経験を生かせる場の提供	△	・図書館ボランティアの登録を受け、図書館まつりや図書リサイクル、広報紙作成などの事業協力を受けている。
		図書館利用に障害のある人へのサービス	管	3-16	施設のバリアフリー化	○	・本館玄関前の点字ブロックを改修した。本館及び瓦葺分館のトイレを改修した。
			本・分障	3-17	大活字本の充実と録音図書の提供	△	・1-2に同じ ・録音資料の貸出対象を視覚障害者から活字による読書が困難な人に拡充した。そのため、郵送貸出に加えて録音資料の来館貸出を開始した。 ・音楽CDの郵送貸出を開始した。 ・サビエ(※)に入会し、録音資料提供の迅速化を図った。
			障	3-18	対面朗読のサービス対象拡充	△	・図書館による対面朗読サービス実施のため、初級音訳者養成講座を実施した。

基本方針		担当	サービス計画番号	サービス計画項目	実施結果	第1次計画最終結果	
		障	3-19	外出が困難な人への宅配サービス	○	・身体障害者手帳1～3級、要介護度3～5度、介護老人保健施設・特別養護老人ホーム入所者を対象に宅配サービスを実施している。	
		施設等へのサービス	障	3-20	配本セットを作り施設へ配本	△	・市内の特別養護老人ホーム1施設に配本セットを提供している。 ・市内の児童自立支援施設に配本セットを提供している。
			障	3-21	施設へのリクエストサービス	△	・施設入所者へのリクエストサービスを開始したが、利用者がいない。
			障	3-22	出前紙芝居	—	
4	機関団体との連携	学校との連携	支	4-1	小学生向け図書セットの貸出し	○	・小学生向け「あっぴい ぶつくるセット本」を小学校・幼稚園に巡回している。
			青	4-1	中学生向け図書セットの貸出し	○	・中学生向け「あっぴいぶつくる本」12セットの貸出を実施している。 ・中学生向け「あっぴいぶつくる本」12セットの状態確認し、資料の60冊の新規購入を実施している。
			支援センター	4-2	総合学習の参考資料選定など学校からの要望に応えられる体制作り	○	・学校からの要望などを考慮し、貸出し用資料を収集している。
			児	4-3	司書教諭・支援員、学校図書館ボランティア育成研修への関わり	○	・学校図書館支援員研修に講師として参加している。
			支	4-3	司書教諭・支援員、学校図書館ボランティア育成研修への関わり	○	・教育委員会指導課と連携し、アッピー学校図書館支援員研修を開催している。
		大学図書館との連携	次長	4-4	市内・近隣大学図書館との連携・相互利用の推進	△	・聖学院大学図書館と連携し情報交換を図っている。
		公共機関との連携	本	4-5	各課がもっている情報(ビジネス支援・生活支援)を収集し実際の支援サービスを提供	○	・庁内各課製作の小冊子などを収集し閲覧・配布など情報提供している。特に高齢者や子育て世代向けのパンフレットなどを設置・配布している。
		他公共機関との連携	次・相	4-6	近隣市町との広域利用の拡充と図書館間の資料相互利用拡充	○	・桶川市・蓮田市へ広域利用を拡充した。 ・県内公共図書館間の相互貸借条件を拡大した。
		市民ボランティアの育成	ボラ	4-7	対象者別育成担当者の配置	—	・図書館のイベントや書架整理等を行うボランティアに対してボランティア担当が配置されている。対象者別の担当者は配置されていない。
			支	4-7	対象者別育成担当者の配置	○	・家庭・地域・学校それぞれの支援主担当が設けられており、その担当者がボランティア育成支援を行っている。
			ボラ	4-8	個人ボランティアの受入と活動の場の確保	○	3-15に同じ
			ボラ	4-9	施設ボランティア連絡協議会の立ち上げと会報の発行・PRの支援	—	
		5	図書館サービス網の充実	本館の改修	管理	5-1	本館改修
分館の整備・改修	管・分			5-2	改修工事の実施	○	・平方分館、瓦葺分館の改修を実施した。
	管・分			5-3	瓦葺分館の移転を含めた、増設工事の検討	—	・当面は現状維持とする。
サービスポイント・ブックポストの設置	管・分			5-4	配本所やブックポストの設置	△	・上尾駅西口にブックポストを設置した。
	管・分			5-5	ブックポストの改修	○	・上平公民館図書室のブックポストを改修した。
6	新中央図書館建設構想	次長	6-1	新中央図書館建設構想の推進	○	・「(仮称)上尾市中央図書館基本構想」策定	
		本	7-1	収集方針、除籍基準の公開	—	・収集方針、選定基準については改訂したが公開はしていない。	

基本方針			担当	サービス計画番号	サービス計画項目	実施結果	第1次計画最終結果
7	市民とともに歩む図書館の創出	図書館運営の開示・PR	電	7-2	ホームページの充実	○	・HPをリニューアルし子どものページ、YYコーナーを設けた。
			各図書館便り担当、電算	7-3	図書館だより、メール・マガジンの発行	△	・図書館だよりをバックナンバーを含めてのHP掲載を開始した。
		市民からの意見を聴くための体制づくり	本	7-4	各館に「ご意見箱」の設置	○	・「図書館へのひと言」の投函箱を各館に設置した。
			次長	7-5	図書館協議会に市民公募委員の配置	—	
			ボラ	7-6	市民ボランティアへの支援		3-15に同じ
		図書館を支える仕組みづくり	ボラ	7-7	図書館友の会(仮称)の組織化	—	
		司書・司書補の配置と研修の実施	次長	7-8	司書資格を有する職員の配置と研修の充実	△	・図書館サービス研修など職員研修には積極的に参加している。
		事業評価の実施と公表・改善	次長	7-9	事業評価の実施、公表・改善	△	・平成27年全館利用者にアンケート調査実施し事業評価を明確にしている。
長期にわたる図書館サービスの提供	館長	7-10	運営体制、管理体制の充実		・計画策定当初からカウンター業務を民間委託し職員数削減開館時間延長を図り市民サービス向上を図り運営を行っている。今後、更なるサービスと効率化の向上を考慮し、さまざまな運営方法について検討していく必要がある。		

【実施結果】

○ 計画どおり実施できている。  
 △ 一部実施しているが、課題が残されている。  
 — 未実施

(担当) 本一本館、分一分館、児一児童、障一障害者、青一青少年、視一視聴覚  
 郷一郷土、雑一雑誌、レレファレンス、電一電算、管一管理、支一支援センター  
 ボラ一ボランティア、相一相互

※ 多様な学習機会

市町村立図書館は、利用者及び住民の自主的・自発的な学習活動を支援するため、講座、相談会、資料展示会等を主催し、又は関係行政機関、学校、他の社会教育施設、民間の関係団体等と共催して多様な学習機会の提供に努めるとともに、学習活動のための施設・設備の供用、資料の提供等を通じ、その活動環境の整備に努めるものとする。(図書館の設置及び運営上の望ましい基準 H24年 文部科学省)

※ サピエ 日本点字図書館が管理する視覚障害者などへの情報提供ネットワーク